

○事業所名	横浜市戸塚地域療育センター（児童発達支援センター）			
○保護者評価実施期間	令和7年10月20日		～	令和7年11月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	69	(回答者数)	64
○従業者評価実施期間	令和7年10月20日		～	令和7年11月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数)	14
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月26日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの適正な評価とアセスメントをもとに支援計画がなされている。	日々の療育の中でお子さんの評価やアセスメントを行ない対応等の確認を行ないながら、個別支援計画に反映させている。定期的に関わるスタッフでのカンファレンスを実施し、チームで目標の確認を行なっている。	お子さんの支援内容はガイドラインに沿った5領域の項目をより意識し、家族支援・地域支援計画も引き続き丁寧にアセスメントを行なってまいりたいと思います。クラスに関わるスタッフがより支援の目的を整理し関われるよう理解を深めて参ります。引き続きSVIによるクラス支援を行なって参ります。
2	保護者支援がしっかり行われている。	親子で通園することで、日々の療育場面を共有し、懇談・個別面談を通じてお子さんの様子の理解を図っている。また、保護者教室（勉強会）を設定し、お子さんの特性の理解や対応のポイントなど知識を得る機会を設けている。保護者同士の繋がり（びあ）を狙い交流会等の後方支援をしている。	就労ケースも増えてきている中で「親子通園」における保護者支援プログラム内容の検討は必要であると考えています。その一方で、「親子通園の強み」も実感しているところではあるため、療育場面の参加や保護者教室の実施方法など、負担ない保護者支援プログラムの検討を引き続き検討してまいります。保護者間の交流については継続して支援して参ります。
3	非常時の対応がしっかり行なわれている。	月1回の避難訓練を実施し、センター内の職員にも応援を求め意識づくりをしている。また、ケガや感染対策など緊急時の対応について職員向けマニュアル等を事前説明し研修を実施している。	災害状況、避難経路等バリエーションを持った訓練の実施を引き続き検討します。また、災害時を想定し引き取り訓練なども実施し、イメージを持てるよう訓練を行っていきます。また、ケガ、事故に関しては引き続きインシ・アクシレポートを日々の連絡会で共有し、同じような事案が繰り返されないようにします。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員の配置（適正数） ・空間（清潔で心地よい・子供たちに合わせた空間・狭い・古い）	市の基準に準じた職員配置であるが行動障害の強い利用児が多く、マンツーマン対応が必要なケースが増加している。建物の老朽化・狭隘化で使用できる部屋が限られている。	行動障害加配職員配置されましたが、対応の必要なケースも増加している状況にあるため、引き続き職員増員に向けて要望を出して行きます。施設自体の老朽化が進み各教室の床や、壁の修繕の必要性が見られます。教室の空間など修繕対応が出来ない部分は、お子さんが過ごしやすい環境設定はソフト面での工夫を検討していきます。
2	・地域との連携子ども関連施設との交流 ・地域の他施設との連携不十分 ・保護者の活動・きょうだいへの対応	通園利用児の通う地域の幼稚園・保育園への連携は参観・訪問を行っているが、民間の児童発達支援事業所との連携は療育見学に留まっている。親の会の活動への協力は行っているがきょうだい児へむけた支援は行っていない。	利用児の通う地域の園については引き続き園連携を実施します。また、交流についてはお子さんの特性をふまえ慎重に検討します。今年度より実施した民間事業所との連携は、より充実できるよう内容を検討します。きょうだいへの対応は外部の勉強会等も含め、情報提供を心がけます。
3	・情報発信 ・保護者・職員ともに情報発信が出来ていない	ホームページやSNSの活用はしているが、利用者、職員ともに呼びかけが不十分である。職員の中での情報共有（特に地域に向けた活動内容等について）の不十分さがある。	現在使用している「マチコミ」の機能の充実。ホームページ・X等SNS発信を強化し利用者へインフォメーションを行います。職員にむけてもセンター全体のサービスも含めた情報発信、周知を徹底し、理解を深めていけるよう促します。

事業所名	横浜市戸塚地域療育センター (児童発達支援センター)
------	-------------------------------

公表日 令和8年3月26日

利用児童数 69名

回収数 64名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	47	15	2	0	ばんだのお部屋にお友達が多くなると、自由に遊びにくいと思いました。	クラスごとの動線や部屋から出す人数を工夫してできる限り人数の調整を行っています。天候が悪い日などはどうしても人数が多くなりやすいため、過ごせる場所の確保を検討します。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	53	6	4	1	親から見るといつも手厚く見てくださっていると感じますが、分離の子が多い日などはやはり先生方がとても忙しいので、先生が大変ではないのか心配な気持ちもあります。	基本的に6人のお子さんに対し2名の職員の配置となっています。必要なクラスにはフリー職員が入り安全かつ課題に取り組める場面を多くとれるよう工夫・努力いたします。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	54	9	1	0	各スペースごとに異なる特徴があるため、子供が痙痙を起こした際、気持ちの切り替えがしやすくありがたいです。	クラス内の環境はお子さんにわかりやすい設定を意識しています。施設自体年数が経っていることもあり、経年劣化している部分については修繕など少しずつ行っているところです。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	52	8	4	0	いつも清潔に保たれており、各収納スペースも子供がお片付けしやすく整理整頓されていて心地良く過ごさせていただいています。	療育後には清掃と消毒を毎日実施していますが生活空間を心地よく過ごせるよう意識して行っています。また、狭い空間の中でもお子さんが安心して過ごせるよう環境を整えて行きたいと思えます。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	59	4	0	1	先生方は児童それぞれの特性を考え、丁寧に対応してくださっているように思います。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	61	1	0	2	事前に把握出来るため、服装の準備をしやすくて助かっています。	
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	63	1	0	0	家庭訪問の際に戸別支援計画の用紙をいただき、個別に深く計画されていることに感動しました。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	57	4	0	3	いつも相談に乗っていただいています。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	63	1	0	0	計画に沿った支援をしていただき、それ以外にも各場面で気付いた点を細やかに指導していただいております。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	53	6	2	3	毎回異なるプログラムが組まれているため、子供がとも楽しんでおり、保護者としても同じく楽しく過ごさせてもらっています。	積み重ねをねらうプログラムは継続的に、季節を意識した内容や行事などもバリエーションを持ち、お子さんたちが「わかる・楽しめる」に繋がる療育プログラムを今後も実施していきます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	31	8	21	4	・年少の今のところ他の園と交流はしたことがありませんが、今後このような機会が設けられるのかな？とこちらの質問を見ていました。 ・児発併用されている方の併用先の先生が見学にこられる機会がありました。	子ども同士の交流という点ではお子さんの課題の優先度としては低く、まずは園外活動で公園や遊戯施設など他児と場面を共有するなかでお子さん自身が安定して過ごせることを課題としています。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	61	2	0	1	利用開始前に園長先生から丁寧且つ細やかな説明を受けました。また、担任の先生方からもその都度必要な説明をいただいています。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	63	0	0	1	家庭訪問の際に担任の先生から両親ともに詳しい説明を受けました。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	61	2	0	1	主に付き添いをしている母親は勉強会に参加させていただきました。また、父親のみを対象とした情報提供の場があり、それにも参加させていただきました。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	62	1	1	0	先生はいつも気を使ってくださり感謝しているのですが、クラス全員を見ているので、保護者からも伝えたい子の共有事項があればとりこぼしがしないよう積極的に話す必要はあると感じています。	親子日では懇談や療育時間内でのできる限り保護者と話す時間を作るように心がけていますが、十分に傾聴ができていないことが感じられているのかと思います。必要時、面談や電話相談等の対応を行いますのでお声がけ頂ければと思います。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	63	1	0	0	定期的な面談があり、それ以外にも日々多くの助言をいただいています。	

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	60	2	1	1	自分の子供に合わせて服装を考えて登園させているのに朝、会ってすぐに子供に服装についてその格好、寒くない？とか暑くない？とかしょっちゅう言う先生がいる。	お子さんに合わせた服装について心無い発言をしてしまいました。保護者の悩みや思いに共感し、必要な情報を「提案する」ということを意識して支援しているよう職員全体へ周知していきたいと思っています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	40	15	4	5	・たんぽぽを利用させていただいており、このような制度がある事とボランティアの皆様にいつも本当に感謝しております。 ・ママ会やパパ会等で保護者同士の交流の機会を設けてくれている。	きょうだいへの支援については、小さなきょうだいの預かり支援に留まり、大きいきょうだいの交流などの機会は支援が出来ておりません。センター外で実施しているきょうだいのイベントなどのご紹介などを検討していければと思います。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	55	4	0	5	初めての子供であり、障害もあるため不安に思うことが多いですが、相談の度に親切に対応してくださり、支えていただいています。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	62	2	0	0	子供に対する伝え方や、行動を切り替えるコツなど、たくさん教えていただいています。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	40	13	3	8	・アプリ「マチコミ」を使用した情報発信を受けています。 ・プリントで行事予定は事前にしかり伝えていただいています。 ・ホームページ、SNSについては私がチェックしていきな分りませんでした	全体に連絡する際に「マチコミ」を活用して配信していますが、災害時など必要な時に活用できないなど課題はあります。また、ホームページやSNSなどはまだ発信の機会が少ないため、積極的にお知らせできていないのが現状です。活用の方法や機能の向上を検討します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	62	1	0	1	これまでに特に気になる点はありません。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	53	6	0	5	訓練があるのかは分かりません。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	60	3	0	1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	58	5	0	1	・災害時にいまの2名体制だと少し不安はあります。全員を安全に避難できるのか。 ・単独の子どもから目を離し、他の子供を叩いたり、おもちゃを取り上げていることに気付いてないことがある。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	53	4	0	7		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	63	1	0	0	幼稚園は今まで嫌がったことがありませんが、こちらは一度も嫌がったことはなく、安心しているのだと思います。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	61	2	0	1	・すごく楽しみにしています。 ・まだ言葉は少ないものの、自宅でも「りょーいく」「○○せんせい」「●●せんせい」（担任の名前）と良く言っています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	59	4	0	1	支援を受け始めてから、1人でできることが増え、癇癢からの気持ちの切り替え、好きな遊びの中断が明らかに上手くなり、親として療育の知識や親同士の繋がりも増え、安心感を得させていただいています。	

事業所名	横浜市戸塚地域療育センター (児童発達支援センター)		公表日	令和8年3月26日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	5	・もう少し広いスペースがあると良いと思うが、現状は動線の工夫等で対応している。 ・仕切り方を工夫している。	・規定の広さは守られているが、1クラス6人以上の体制はスペースが足りないと感じるため、動線の工夫、別の部屋を用意または、空間の工夫などで安全を図ると良いのではないか。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	7	必要な場面・状況では、フリースタッフを要請している。少ない人数で把握しやすいよう、こどもの組み合わせなど配慮している。	・個別配慮が必要な児童が複数いる中で、現状の体制では、事故につながりかねず限界を感じる。 ・療育の質の保障が難しいと感じる。 ・状態像や介助量に応じて、週5クラス以外にも加配職員の配置が必要
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13	1	パーテーション、スケジュール、部屋の空間作りなど、様々な面で特性に合わせた配慮を行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	7	個々のスペースや集団スペースの設定においては、子どもが楽しめる空間づくりや安心して過ごせる環境設定を行っている。	・老朽化や設備により夏は暑く冬は寒く、温度調整の限界がある。 ・配管工事後の水回りの使い勝手の悪さが顕著にある。 ・施設の狭隘化
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13	1	・棚・パーテーション(既成品・手作り含め)を使って、個別のスペースを作り、様子にあわせて使いやすいよう工夫している。 ・空き教室を個別化が必要な児にあてている。	・児童の安全につながる、雨天時の活動スペースの確保
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	13	1	・MBOの実施 ・大小さまざまなミーティングが実施されている。 ・その日のうちに振り返りを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	0	・年4回の面談や日々の親子日に意向を確認する機会を設けている。 ・毎年アンケートの実施・公表がされている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	2	・会議やグループミーティングで意見の吸い上げをしています。 ・少人数でのミーティングを実施し、意見が言いやすい場を設定している。	職員の意見から、運営面や業務の改善にむけて検討はしているが、人員体制などの増減による負担の大きさが影響している部分がある。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	14	0		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	14	0	・法人内や外部講師を招いての研修を年数回設けている。 ・セター内・課内での勉強会・研修の実施	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	14	0	・SV体制など、担任以外とも確認する体制を作っている。 ・ホームページに掲載している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	14	0	担当者が確認した物をカンファレンスで子どもと家族の課題や状況を確認し、作成を行っている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	14	0	・計画に沿って日々のプログラムの実施や、個別での課題として反映されている。 ・カンファレンスでの周知、意見交換	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	14	0	・日々記録など。 ・アセスメントの共有や研修を都度行う。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13	1	・担任間、チーフや園長と役割を分担しながら、適切に実施がされている。 ・それぞれの項目の内容は、職員間で共有し、個別支援計画書に反映しています。	職員への各領域に則した目標と考え方の伝達が必要
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14	0	・担任間で立案を行ったものも、他クラスとグループミーティング内でプログラムについて共有 ・担任同士が話し合っていて決めている。他のクラスの担任がやっている新しいことも取り入れることもある。また、作業療法士に入ってもらってプログラムを検討することもある。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14	0	・年間で、お子さんにとって必要な要素（活動）を、計画して立てています。 ・職員間でプログラム調整を実施している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	14	0	・個別活動はADLや机上課題、集団活動はプログラムを中心に組み合わせ、児童発達支援計画を作成している。 ・子どもの状況を踏まえて集団活動の内容・グループ分けを行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14	0	担任間、また他職種等が入る際には、そのメンバーも含め、確認をおこない日々取り組んでいます。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	1	・目標に添いながら項目立てて、日々記録をしています。 ・エピソードを保護者と共有できるツールになる。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14	0	・保護者との面談の実施 ・モニタリングのFBを都度行う。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14	0	管理職層が各クラスの子どもの状況を適切に把握しているため、職員の認識と大きくズレることがないように思う。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14	0	・地域の園と療育の参観と園訪問を行っている。 ・特に家族支援が必要なケース、医療ケアが必要なケースについては連携に努めていると思います。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14	0	・参観などを通じて行っている。 ・多職種で連携する様子が見えてくる。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14	0	卒園時に保護者からの情報提供に加え、必要時に機関間で引継ぎを行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	13	1	・利用者を取り巻く地域の集団との連携を行い、安全かつ過ごしやすい未来に向けたサービスを行っている。 ・他の児発に通っている子がクラスにいる場合、児発の先生に通園の様子を見に来てもらえる参観の機会がある。	・他の児発事業所との連携の継続 ・療育見学の内容の検討
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	12	2	・学会への参加 ・研修の実施	・学会参加の促し。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	8	6	地域お祭りやオープンデー等開かれた場のイベント等	センター内他課スタッフが参加しているが、課員への周知不十分
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	8	必要時に限られる。	療育参観・園への訪問を通じ職員との情報共有は実施しているが、子どもとの活動に関しては目的を整理して実施の有無を検討
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	14	0	・日々の療育での様子に加え、家庭での様子を共有し課題について共通理解を持ち取り組んでいる。 ・単独メモや親子日を通じた共有・確認に加え、ケア内の事前MTGで保護者と確認する内容・タイミングを確認し、十分に時間をとれるよう配慮している。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	13	1	・ラポール等のイベント、保護者教室、親の会主催のものなどが実施されている。 ・親子日の実践	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14	0	・紙面を使い説明を行っている。 ・契約・保護者連絡会の実施 ・毎回の親子日での懇談	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14	0	・年4回の面談の中で確認する機会を設けている。 ・保護者のニーズの聞き取り。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	14	0	面談での確認	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14	0	・必要時他職種とも情報を共有し、センター全体でご家族への支援を行っている。 ・必要に応じて個別で面談を実施している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	14	0	親の会(ひまわり)、兄弟児保育(たんぼぼ) 親同士の懇親会(母親同士、父親同士)	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14	0	必要ケースにおいては適宜面談の実施	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	14	0	・マチコミの活用 ・月1の通信を出している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14	0	個人名等の取扱いへの研修	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14	0	個々の評価に合わせた視覚的支援等	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	8		コロナ前に実施していたイベントの実施検討
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14	0		
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13	1	年間スケジュールで設定(月1回)	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	14	0	・医療ケアの意見書の作成 ・年度当初にアンケート実施。医療ケア実施で関係者に周知	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	14	0	年度当初にアンケート実施し、対応の変化は都度保護者から連絡をもらうよう周知	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13	1	全体研修を企画	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13	1	勉強会などで周知	
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	14	0	・誰が読んでも分かる詳細を書類に記入し報告まで行っている。 ・課内でもインシデント・アクシデント報告の共有 ・委員会を設けて全体周知		

52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14	0	・虐待予防委員会の実施 ・全体研修で周知	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	13	1	保護者と確認したうえで、支援計画書にも記載している。	

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	横浜市戸塚地域療育センター ぴーす戸塚 (児童発達支援事業所)			
○保護者評価実施期間	令和7年10月20日		～	令和7年11月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	89	(回答者数)	67
○従業者評価実施期間	令和7年10月20日		～	令和7年11月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月23日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画に沿って、ひとりひとりに合わせた支援を行っている。	個別支援計画書の作成や支援方針の検討にあたっては、児童発達支援管理責任者、担当の保育士・指導員だけではなく、療育センターの医師やソーシャルワーカー、心理士など、多職種によるこれまでの見立てを踏まえ、作成しています。また、必要に応じて都度相談し、助言を得て改善策を検討しています。	これまでフォーマル評価・インフォーマル評価など組み合わせで多面的なアセスメントを実施してきました。今年度は、心理職によるクラス評価を実施したり、作業療法士のSVを活用し、より深化した評価に基づく計画を検討してまいりました。家族支援や地域支援の計画と合わせ、より丁寧な支援につなげていきたいと考えています。
2	子どもに合わせたお部屋やプログラムなどの環境設定がなされている。	小集団プログラムのため、同じクラスで同じプログラムを実施することになりますが、上記のアセスメントにもとづき、個々のお子さんの発達段階や特性に合わせて、毎日設定やジグ(子どもに伝えるカードや呈示物)をチェンジしています。また、今年度は、教材のICT化にも取り組み、動画教材の作成も開始しました。	引き続き、左記の取り組みを継続します。動画などを活用し、より子どもにとってわかりやすく学びやすい環境設定を検討していきます。また、職員の入れ替わりもあることから、職員で共有する仕組みをつくり、プログラムやねらい、視点の共有をはかり、人材育成に努めます。
3	個人情報の保護や災害時等を想定した対応などが、しっかりなされている。	毎年、全体研修を行い、職員全員でルールについての確認を行ってきました。また、ヒヤリハット事例をすぐ共有し、改善策を検討することで、意識し続けることができるようにしています。	引き続き、左記の取り組みを継続します。

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の機会や家族の支援、きょうだいの支援について、十分ではない。	昨年度から、懇談時間の活用やリフレッシュ分離日の周知など取り組みましたが、アンケートでは変化が見られなかったことから、ぴーすに父母の会がないことがアンケート結果に強く影響しているものと思われました。一方で、保護者同士の交流については、日々ポジティブな感想も頂戴していることから、一定の交流はできているように思われます。	懇談の時間の使い方、話題については、引き続き、職員間でも共有していきます。保護者同士の交流を求めている方がおられる一方で、交流を求めている方、苦手とうかがっている方もいらっしゃるため、義務感で参加したりかえって負担感が増さない配慮も重要と考えており、どの方にとっても程よい交流の持ち方を検討していきます。きょうだいの支援は部屋の狭さや場所の確保が難しいこともあり、実施できておりません。夏まつりの休憩室の解放など、実現可能なことを引き続き検討していきます。
2	情報の発信が弱い。	おたよりを定期的に発行したり、マチコミを活用して連絡事項を配信したりしていますが、現代のSNSに慣れている保護者の方にとっては、十分ではないものと思われれます。(圖ではアプリでの配信や写真なども見れるHPがある) また、SNSなどの発信は、頻度が少ないと情報に触れることが少なくアクセスしにくくなると思われるため、現在の頻度では見落とす要因になっている可能性も考えられます。	マチコミメールやつながる配信の活用方法(発信内容や頻度含む)について、更に検討します。
3	子どもの活動等のスペースが十分ではない。	児童発達支援センターの基準を満たしてはいますが、親子日には倍の人数となるため、狭く感じられるのではないかとと思われます。	療育室のほか、活動場所として、ホールなどを確保しています。活動内容に合わせ、工夫しながら場所を選び活用できます。また、運動や屋外活動などで近隣の公園などを活用し、建物内にとらわれずに地域資源を活用していきます。

事業所名 横浜市戸塚地域療育センター  
びーす戸塚（児童発達支援事業所）

公表日 令和8年3月26日

利用児童数 89名

回収数 67名

	チェック項目	回答状況				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	58	7	2	0	・靴置き場辺りのスペースが狭い印象です。 ・全体的に各部屋が狭いように思う。	児童発達支援センターの基準を満たしておりますが、親子日に人数が倍になりやすく狭くなってしまい、申し訳ありません。ホールを活用して運用しておりますので、ご理解をお願いいたします。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	65	2	0	0	我が子も含め、どうしても手のかかる子に付きっきりになったりするような気がします。だからって一人一人につくのは違うと思うので、難しい問題ですね。	お子さんにより、サポート内容や必要な場面が異なります。それぞれのお子さんに必要な支援ができるよう動線を組むようにしています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	62	5	0	0	分かりやすくなっていると思います。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	67	0	0	0	・トイレがとても綺麗です！ただ、一階の待合室のトイレは子供の手でトイレトペーパーがとれない位置にあるので、改善していただくと嬉しいです。 ・清潔にされていると思います。	1階のユニバーサルトイレは、お子さんの手が届く位置にペーパーホルダーが設置できないか検討しました。しかし、構造上難しく、また手の届く位置に配置すると、ユニバーサルトイレとしての機能が果たせなくなるため、設置できませんでした。大変申し訳ありませんが、療育室の子ども用トイレをご利用いただくか、1階トイレをご利用の際には、保護者の方にサポートいただけますようお願いいたします。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	62	4	0	1	個々を分析されているのが伝わるので、受けられていると思います。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	64	1	0	2		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	65	2	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	63	3	0	1	児童支援計画書が子供のことをよく見ていてくれるといつも感動しています。ありがとうございます。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	65	2	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	58	6	0	3	固定化がされないとは、途中で話し合いにより、支援内容を変えられるということでしょうか？それでしたら可能と聞いております。	お子さんが新しい課題に程よく取り組めるよう配慮していますが、極端に変化を嫌がるお子さんがいらっしゃったり、お子さんによって慣れ方・飽き方が異なります。クラス毎に頃合いを見て変更しています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	38	7	8	14	・利用したことはありませんが制度としては知っています。 ・保育園に通っています。	殆どの方が毎日幼稚園・保育園に通われている中で、小集団での療育をご利用いただいているため、所属されている園との連携に力を入れています。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	67	0	0	0			
13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	66	0	1	0			
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	62	3	0	2			
15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	64	3	0	0	親身になってくれる先生もいる中で先生によって受ける印象が異なることがあります。	ご心配をおかけして申し訳ございません。“親身になってくれる”と思っていただけよう支援していきます。	

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	65	2	0	0	環境的に誰も気軽に話せる人がいないので、もう少し気軽に子育てや特性について悩みが相談できる時間があればありがたいなと思います。	療育終了後に、ご希望に応じて面談時間を確保しています。また、電話相談や相談票での相談もできるようにしております。相談しやすい形をご利用いただければと思います。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	65	1	0	1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	31	15	4	17	我が家は、きょうだいがいない為、きょうだい向けの催しがあるのかもしれませんが、周知していません。親同士の交流は、送迎時の待ち時間や親子分離の日、療育中のフィードバックで、子どもの特性から日常の様子を話すことができ、参考になりますし、リフレッシュになっています。	保護者同士の交流の機会については、毎回の懇談の使い方について改めて検討し、職員間でも共有を図ります。保護者同士の交流を求めている方がおられる一方で、交流を求めているない・苦手な方もいらっしゃるため、配慮しながらの方にとっても程よい交流の持ち方を検討していきます。きょうだいへの支援については、療育室の狭さや場所の確保の難しさから、現在できておりません。とつか夏まつりで休憩室を解放したり、リフレッシュ分離日を設けておりますので、ご活用いただけましたらと思います。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	61	5	0	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	63	3	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	56	2	0	9		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	64	1	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	60	5	0	2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	67	0	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	65	2	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	59	0	0	8	発生していないと思うので分からない。	けがが発生した場合には、親子日にはその場で、分離日には、お迎え時に報告しています。これまで、大けがなどが発生したことはありません。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	65	2	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	61	6	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	67	0	0	0	・自身では気付きにくいことに目を向けていただけると助かっています。まず今、子どもが通園できている環境に感謝しかありません。 ・園での心配ごとや就学準備などを相談できる場所があることは有難く、大変心強いです。ただ、園の行事ごとや就学についてお話ししても、その後の様子や結果も聞かれることが少ないので、個人面談の時にまとめてお伝えする流れになってしまつのが気になります。	満足とご回答いただけたことに感謝します。行事などについては、なかなかタイムリーにお話をうかがうことができませんし、状況によっては懇談などで話題にしにくいことも生じています。できるだけタイムリーにお話できるよう努めています。

事業所名	横浜市戸塚地域療育センター びーす戸塚（児童発達支援事業所）		公表日		令和8年3月26日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	廊下スペースを活用して、プログラムを行っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	0	毎回の療育や各種勉強会・研修後など、全て PDCA サイクルの元に行われている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	一定のサイクルで療育の後や各種講座後など保護者の感想や意見などをアンケートで集約している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1		職員アンケートをとり意見集約をしたり、会議の中で業務改善について話し合ったりしています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	0		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	勉強会や研修など、学ぶ機会に恵まれている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	・カンファで指導計画の確認をし、プログラムを立案を行っている。 ・プログラムの立案は担任（リーダー）を中心に皆で考えて行っている。各クラスの児に合ったプログラムを立案している。子どもの発達段階に合わせて、理解できる内容にしている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	・こどもの状況に応じて、時間や場所を調整して対応を行っている。また、保護者にも支援計画を通じ、説明を行っている。 ・小集団の活動の中で、各々の課題が表出するような場面の設定や“こうすればうまくいく”といった工夫も合わせて支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1	保育所や認定こども園、幼稚園については、療育参観や訪問支援の際に共有を図っている。また、小学校とは積極的に引継ぎを実施している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	1		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	5	利用児全員が幼稚園や保育園を利用しており、幼稚園や保育園とは園訪問や療育参観を通じて交流があります。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	6	びーすには父母の会がない。しかし、交流する機会になるよう、日々の懇談時間やクラス毎の保護者教室時に、交流する時間を確保している。	きょうだいへの支援については、療育室の狭さや場所の確保の難しさから、現在できておりません。左記の取り組みを継続します。また、父母の会をつくりたいご要望等ありましたら、ご相談ください。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	療育終了後に個別面談の時間をしている。また、連絡票や電話相談にも対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	1	年5回おたよりを発行している。また、マチコミでの連絡を配信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	4	事業所の利用をオープンにしている利用者もいるため、実施していないが、夏まつりの参加をしたり、療育センター全体で運営協議会を開催し、地域に開くよう努力している。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	1	服薬やてんかん発作については、事前に確認し、対応を協議している。予防接種にかんしては、療育センター外来時点で確認して引き継いでいる。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	食材を扱うプログラムでは、食物アレルギーの聞き取りをした上で、食材を決めている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1	個別支援計画書を通じて確認し共有している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	2	基本的に身体拘束をしない対応としている。	環境設定の工夫を最大限活かし、身体拘束をしない対応を継続していきます。	

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	横浜市戸塚地域療育センター 保育所等訪問支援		
○保護者評価実施期間	令和7年11月5日		～ 令和7年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	令和7年11月5日		～ 令和7年12月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○訪問先施設評価実施期間	令和7年11月10日		～ 令和7年11月30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	2	(回答数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域療育センター及び児童発達支援センターとして、巡回相談や療育参観等、訪問先となる保育所等の機関との連携実績が豊富にあることから、訪問先のニーズを的確に把握できるのではないかと思います。	対象児の評価を丁寧に行うとともに、保護者のニーズと、訪問先の機関のニーズ双方を把握して、効果的な訪問支援事業になるよう意識して取り組んでいます。	支援開始前の事前評価をもとに、計画を立てて進めています。が、年度途中の対象児の状態像や保護者及び訪問先のニーズの変化をさらに丁寧に把握して行くよう努めます。
2	対象児の評価及びこの事業での目標設定、訪問先での支援を実施するうえで、多職種によるチームアプローチが可能です。	対象児の状態像や課題、また訪問時の支援目的に応じて、訪問するスタッフの職種を選定し、また訪問回ごとにアレンジもしています。	引き続き、左記の取り組みを継続して実施していきます。
3	家庭状況により、高頻度の集団療育の利用が困難なお子様に対しても、訪問支援事業によるフォローを提案できます。必要に応じて集団療育と訪問支援事業の併用も可能です。	お子様の状態像と保護者のニーズ、家庭状況に合わせて、支援計画を立てています。	ニーズの多様化に対応し、柔軟な支援プランを提示できるよう更に努めていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援事業の対象児の状態像や課題、支援目的に応じて訪問するスタッフを選定していますが、他の業務と兼務のため、人数や回数の確保が十分とは言えません。	保育所等訪問支援事業の専任スタッフを確保することができないことです。	次年度の事業計画や集団療育の利用者の選定と同時期に、保育所等訪問支援事業の利用者の選定も行い、職員体制を整えるよう今後も取り組んでいきます。
2			
3			

公表

## 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 横浜市戸塚地域療育センター  
保育所等訪問支援

公表日 令和8年3月26日

利用児童数 3名

回収数 3名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	3	0	0	0	記載された意見はありませんでした。以下も同様です。	
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	3	0	0	0		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	3	0	0	0		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	3	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	3	0	0	0		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3	0	0	0		
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	3	0	0	0		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2	0	0	1		保育所等訪問支援のガイドラインや「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」についての説明が不足していました。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3	0	0	0		
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	3	0	0	0		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3	0	0	0		
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	2	0	1	0		個別フォローは本人・家族両者への支援を意識して取り組んでいます。家族支援プログラムとして設定できてはいません。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	3	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3	0	0	0		
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2	0	0	1		ご家族から申し出がしにくい可能性を考慮し、相談しやすい体制の周知に努めます。
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3	0	0	0		
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	3	0	0	0			

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	3	0	0	0		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	3	0	0	0		
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2	0	0	1		定期的にホームページにて、情報の発信・更新を行っていますが、より見ていただきやすい画面になるよう務めます。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3	0	0	0		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	2	0	0	1		緊急時の対応について、訪問先と特には確認していませんでした。今後検討いたします。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2	0	0	1		安全確保を心がけておりますが、具体的な支援についての説明は不足しているので改善に努めます。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	3	0	0	0		
	28	事業所の支援に満足していますか。	3	0	0	0		

公表

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

横浜市戸塚地域療育センター  
保育所等訪問支援

公表日 令和8年3月26日

訪問先数 7

回収数 3

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	2	1	0	園で困っていることを相談すると対象児の特性について説明があり、とてもわかりやすく取り入れやすかった。	具体的でわかりやすく、取り入れやすい助言に努めていきます。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	3	0	0	特性についても一人ひとり違うことや視覚情報を意識して保育を行うことなどを教えていただき学ぶことが多くありよかった。	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	3	0	0	丁寧な回答で信頼できた。保護者との間に入り、園での様子も気にかけていただきよかった。	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	2	1	0	登園渋りや行事で興奮してしまうことなど、その時の様子を訪問し、見ていただいた上で話が聞けて良かった。	年度途中の対象児の状態像や保護者及び訪問先のニーズの変化をさらに丁寧に把握して助言に活かして参ります。
5	事業所からの支援に満足していますか。	3	0	0	登園渋りが続いているときに、園に来た時に「特別」が味わえるよう、事業所のお気に入りの玩具を貸し出してもらった。とても満足している。	
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> <li>いつもありがとうございます。今後も一緒に見守っていただけたらと思います。どうぞよろしく願いいたします。</li> <li>特性の理解が深まり、対象児との関わりにおいて良かったことと、改善点を具体的に知ることができて良かった。</li> <li>行事になると環境が変わり興奮してしまったときに、対応に困っていたが、対象児に合った関わりを提案していただき参考になった。</li> <li>訪問していただき、直接様子を見て話を聞いていただき、より内容が分かりやすく伝わってよかった。また、保護者との間に入り、連携することで保護者も安心している様子があった。</li> <li>事前に質問を取ること、ひとつの方法だと思えます。困っている点・工夫しても改善が進まない点等の質問等</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>当日の対象のお子さんの状態と園の環境を踏まえて、具体的な助言に努めて参りましたが、毎回の訪問前にも質問を受け付けて、準備をして何うなど更なる工夫があるとよりニーズに適切な支援につながると思われるため、必要に応じて実践してまいります。</li> </ul>	

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		横浜市戸塚地域療育センター 保育所等訪問支援		公表日		令和8年3月26日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	5	0	療育の手引きや、児童発達支援事業所で使用しているスケジュールの見本を持参している。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	多職種で支援プランを検討したうえで、適切なスタッフを選任して実施している。		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	カンファランスや訪問後の報告を設定し、意向確認も行ったうえで方針を決定している。		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	職員全体、職種ごと、経験年数に合わせて等研修の機会が多く設定されている。		
適切な 支援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	5	0	業務の流れや役割分担、マニュアルの整備が不十分である。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	同上		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	5	0	同上		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0			
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	業務の流れや役割分担、マニュアルの整備が不十分である。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	同上		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	5	0			
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	5	0				
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	2	専門機関からの助言、外部研修の機会は多いとは言えない。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	2	業務分担当上、事業所内の一部の職員が、自立支援協議会等に出席している。	より多くの職員が、自立支援協議会等への参加ができるよう検討していきます。参加者が得た情報を事業所内で共有して行きます。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4	1		
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	5	0		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	5	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	5	0	設定した面談日以外にも、書面や電話での相談に応じるなど柔軟に対応している。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2	児童発達支援センターや児童発達支援事業所として、保護者への集団形式の支援は実施しているが、保育所等訪問事業の利用者を対象としたものは実施できていない。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	1	HPを通じての各種インフォメーションやオンライン講座の充実を図っている。	SNSの活用については今後の課題と考えています。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	5	0		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	5	0		
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	5	0		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	5	0		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0		